

尋常小學讀本卷二

檢定中辭書

K120.8
68d
2

K120.8

68d

2

東久世通禧 閱
西澤之助 編

尋常小學讀本卷三

東京國光社圖書部

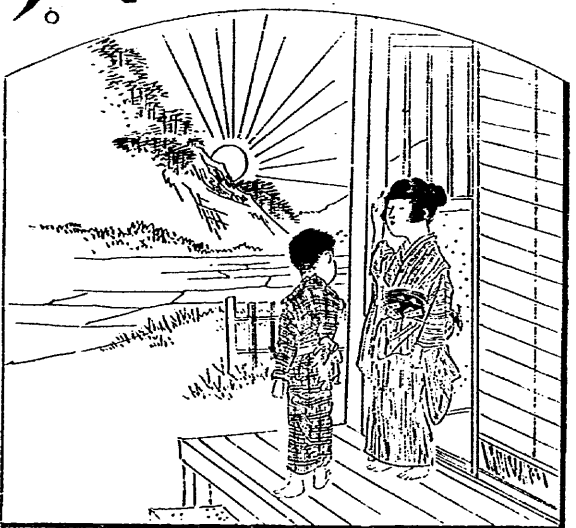


尋常小學讀本卷之二

第一課

あさひがやま
から、でかか
ります。

ひのでは、きれ
いで、ありませう。



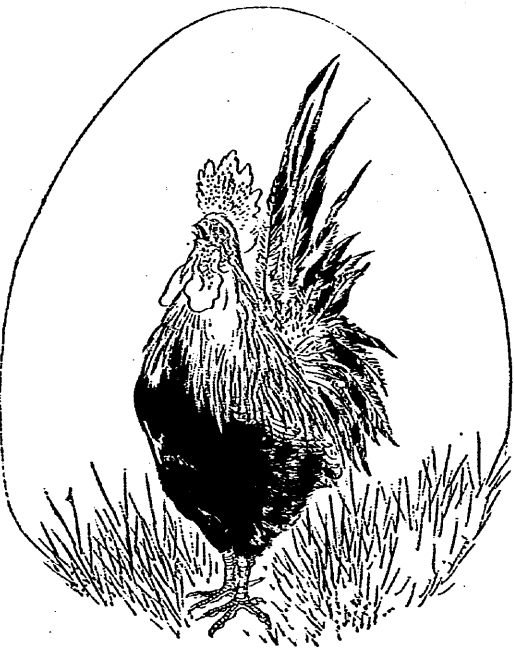
せう

尋常小學讀本

卷之三

國光社發行

第二課



こゝにはとりがないて
をります。

これは、
をんどり
で、あり
ます。

第三課

カウ

ガクカウノセイト

ガ、ナランデ

ヨリマス。

サウ

コレハ、タイサウ

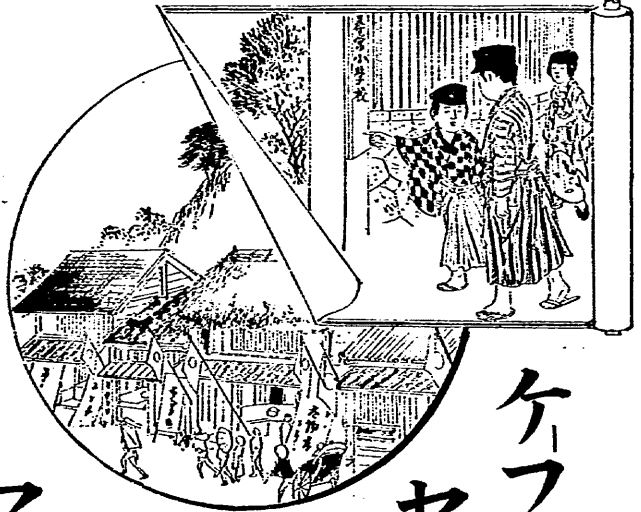
スルトコロデ、

アリマス。



第四課

ケフハ、テンチヤウ
 セツデ、アリマス。
 イマカラ、ガク
 カウヘデテ、
 オイハヒ マウシ
 マセウ。



第五課

きみがよは
 がちよにやちよに
 さざれいーの
 いはほとなりて
 こけのむすまで。

練習

アサヒハ、キレイデ、アリマス。
 コ、ニ、ヲンドリガ、ナイテ、ヨリマス。
 がくかうのせいごとが、たいさうして
 をります。
 けふは、がくかうへ、でませう。
 てんちやうせつを、たいはひまう。

ませう。

第六課

このひごは、
 いねを、かつて
 をります。
 いねのほが、
 おもさうにたれ



新編 正三郎の習言 卷之二 第六課

てをります。

ほろ
こころは、ほろねんで、あり
ませう。

第七課

オヤスミ、ノ、ジカンニ、ナリ
マシタ。
ナニヲ、シテ、アソビマセウ

カ。

オニゴトヲ、
イタシマセウ、カ。
テウレンノマ子ヲ、
イタシマセウ。

第八課

ラウ
シガ
タラウガタイシヤウ



ニナリマシタ。

ケンチヌイテ
ガウレイシテ

ヨリマス。

ヘイタイガ、

イキホヒヨク

ス、ンデユキマス。

ガウ



ガウ

コノヘイタイハバウシヲ
カブツテヨリマセヌ。

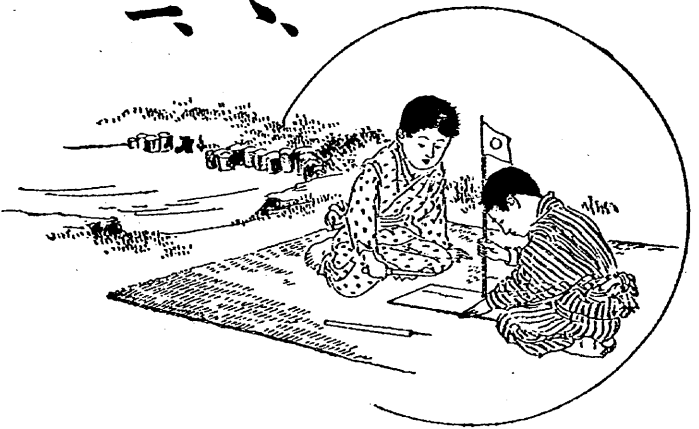
第九課

ニラウサン、フ子ヲコシラヘ
マセウ。

コノイタニ、アナヲアケ
テ、タケノホバシラヲ、タテ

サ

マセウ。
 サアフ子ガ、デキ
 マシタ。
 コレカラ、ホバシラ
 ニ、ハタヲタテ、
 イケノナカニ
 ウカセマセウ。



第十課

人

ひとが、ふねにのつて、をり
 ます。
 この人は、ろで、ふねを
 こいで、をります。
 これは、ちひさいふねで、あり
 ます。

ほう

大

じょう



あれ、あちらの
ほうに、たほま
なふねがみね
ます。
あの、大きなふね
は、じょうきせん
であります。

練習

イ子ノホガ、オモサウデアリマス
カラコトシハ、ホウ子ンデアリマセウ。
たやすみのトかんには、てうれん
のまねを、いたーませう。
たいーやうのたらうが、がうれい
して、をります。

ばうーをかぶらぬへいたいが、
ならんでゆきます。
さあ、ほばいらのうへにはたが
たちまゝた。

アチラノハウノ大キナジヨウキセン
二人ガノツテ、ヲリマス。

第十一課

アノ人ハ、チヒサイイヌヲ



ツレテヲリマス。
小サイイヌハ
カハユラシイモノ
デ、アリマス。
アレ、大キナ犬
ガ、ワンワント

犬

小

ホエツキマス。
小サイ犬ガ、カハユサウデ
アリマスカラ、コノタケテ、
大キナ犬ヲ、オヒマセウ。

第十二課

小さな犬が、大きなねこ
を、たひかけて、きまゝした。

上

ねこは、きの上

にげのぼつて、した

をみてをります。

木

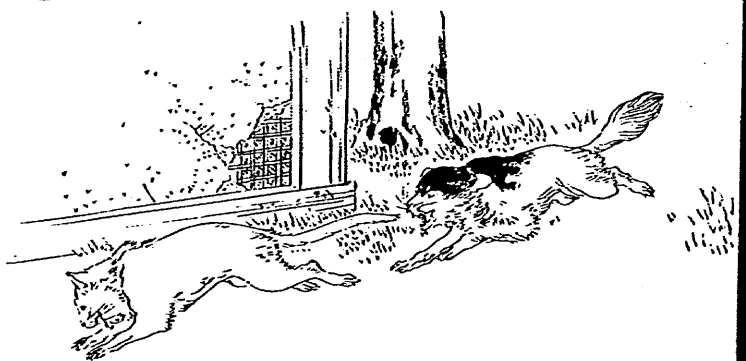
犬は、木にのぼれ

ませぬゆゑ、下から

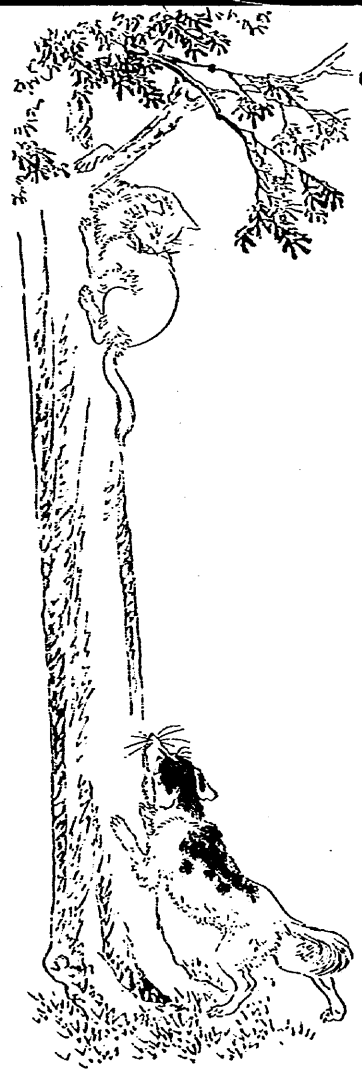
ほめて、をります。

下

小さな犬でも、大き



なねこよりは、つよいと
みえます。



第十三課

あちらに、たかいやまが、みえ

山

ます。

山の上に、まつ
の木が、はは
てをります。

まつの木は、いつも
はが、あをくとして、
をります。



川

山の下に、川があります。
川のうちに、こひふななどが
すんでをります。
この川の水は、きれいで
あります。

水

第十四課

日月

けふは、一月一日で、あります。

丸

ごこの
うちにも、
かごまつ
をたて、
日の丸
のはたを、だして
あります。



子

あれ、をこのこのこがたこを
あげて、をります。
をんなの子がはねをついて、
をります。
どちらも、ねもーろさうに
あつんで、をります。

第十五課

トウ

ソノタコノエハ、ナニデ
アリマスカ。
コレハ、カトウキヨマサガ、
トラガリヲシテナル、エ
デアリマス。
ソレガ、キヨマサデアリマスカ。
キヨマサハ、タイカフサマノ

カフ

ソウ



ケライデ、タイソウツヨイ
 ヒトト、キイテ
 ラリマス。
 ワタクシラモ、
 キヨマサノヤウ
 ニツヨクナリタイ
 モノデアリマス。

ヤウ

練習

あの人 が たけで、犬を たひやり
 ました。

小サイ子コガ、木ノ上へ、ニゲ
 ノボリマシタ。

アノ山ノ下ヲ、ナガレテラル、
 川ノ水ハキレイデアリマス。

一月一日ニハ、ドコノウチデ
 モ、日ノ丸ノハタヲタテマス
 この子の、たこのゑは、かどう
 きよまさのやうであります。
 たいかふさまのけらいで、たいふ
 つよい人は、だれでありますか。

第十六課

ドウ
 出
 子供

目

大ソウユキガ、フリマシタ。
 センセイガ、子ドモヲツレテ、
 ウンドウバへ、出テミエマス。
 子供ガ、大キナユキダルマヲ、
 ツクリマシタ。
 一人ノ子供ハ、フデバ、目ト
 ハナトヲ、カイテヲリマス。

回

コノユキダルマ
ニハ、ロガ
アリマセヌ。
コレカラ、ツケル
ノデ、アリ
マセウ。

第十七課



ゆきのとりてを

つみあげて

まなびのともごち

うち つごひ

いくさあそびの

たもーろや

ふれく ゆきよ

つもれ ゆき

ふりつむ ゆきを

ともーびに

ふみみー人も

ありときく

われらも つまん

まごの ゆき

ふれく ゆきよ

つもれ ゆき

第十八課

花

ウメノ花ガ、キレイニ、サキ
マシタ。

ウグヒスガ、オモシロク、ナイテ
ヲリマス。

白
コノウメノ花ハ、白イ一ヘ

又
テアリマス

ガ、又アカイ

花ヤ、ハヘノ

花モ、アリマス。

ウメハ、テンジンサマ

ガ、オスキアソバサレタモノ



天
テアリマス。

ソレユエ、天ジンサマノゴモン

ニハ、ウメバチヲツケマス。

第十九課

天神サマノ才名マヘハ、スガハラ

ノミチガ子ト、マウシマス。

小サイトキカラ、ガクモンガ

天神名

天

又

白

文

オスキデ、ウタ

ヲヨミ、文ヲ

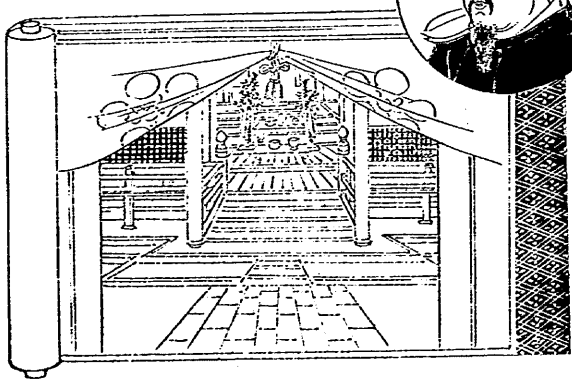
ツクルコトガ、

オジヤウズデアリ

マシタ。

サウシテ、又、天神

サマハ、天子サマニ、大サウ



言

奇方

チユウギ ナオ方 デ、アリ

マシタ。

天神 サマノオマツリハイツ

デ、アリマスカ。

第二十課

太

あにの太らうは、ろろばん
のけいこを、して、をります。

本

もう

手本



おとうこの
二らうは、本
をよんでをり
ます。
あれ、いもうと
の たたけが、
手本をもつて、

きょう

中

まゐりました。
いまから、手ならひするので、
ありませう。
この三人のきやうだいには、
いつも、中よく、べんきやう、
いたします。
のちには、みな、かゝらぬ

になりませう。

練習

子供が、うんどうばへ出て、ゆき
だるまをつくつて、をります。
ゆきだるまに、目や、口をつけませう。
うめの花は、たほく、白であります。
ますが、又、あかい花もあります。

天神さまは、文をトやうずに
つくられた、た方であります。

天子さまに、ちゆうぎをせねば、
なりませぬ。

アニノ名ハ、太ラウデ、ヲトウト
ノ名ハ、ニラウデ、アリマス。

イモウトノオマツガ、手ナラヒヲ

ベンキヤウ シテ、ヲリマス。
キヤウダイ 三人ガ、中ヨク本ヲ
ヨンデ、ヲリマス。

第二十一課

ユキ ハ、モウ フラヌヤウニ
ナリマシタガ、風 ハ、マダ
ナカク ヒエマス。

風

百

アレ、百シヤウ
ガ、コノサムイ
ノニ、ハタケニ
出テ、ヲリマス。
アレ、ハムギノ中
ヲ、タガヘシテ、ヲル
ノデ、アリマス。



キヨ

ムギハ、キヨ子ノアキニ

寸

マイテ、コノゴロ、メガ三四寸

ニ、ノビマシタ。

今

今、ヨク、タガヘシテオキマス

ト、ノチニハ、ヨイムギガ、

ミノリマセウ。

第二十二課

米

コノウチノオクニ、ツンデ
アルモノハ、ナニデ、アリ
マセウカ。

アレハ、米ムギナドノタワラ
デ、アリマセウ。

入

マヘノ方ノ、ヲケニ入レ
テ、アルモノハ、ナニデ、アリ

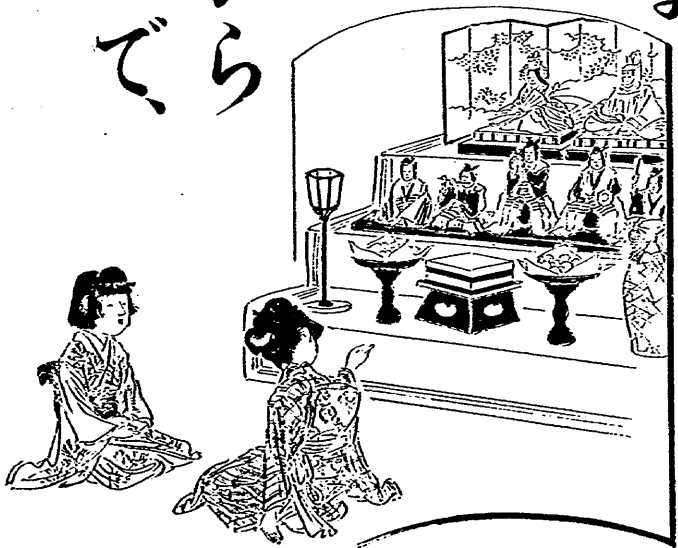


豆
米、ムギ、豆、アツキナドヲ
コクモツトマウシマス。

第二十三課

か
わ
び
や
う
く
わ
を
か
ざ
り
ま
せ
う
の
あ
ろ
ろ
に
を
た
て
ま
へ
に
く
わ
や
ろ
ざ
け
を
う
な
へ
ま
せ
う

このだいらさま
 は、をぢさま
 から いたゞき、
 五にんばやーは
 をばさま から
 いたゞいたので
 あります。



これ から、おあねさまを、
 おきやくによびまゝて、まごご
 を いたゝませう。

おらめや、おまへは、おきふ
 を して おくれ。

第二十四課

わたくしらを、生み 了だて、

母

父



かやうに、大き
くしてくだされ
たのは、ち、上
母上でござり
ます。
このくにを
をさめて、父上

君

は、じめ、わたくし、どもを、ぶ
に、くらせる、やうに、あつば
されるのは、天子さまで、
ござります。
うれゆゑ、君と、たやとの
ごたんは、すこゝのひまも、
わすれては、なりませぬ。

第二十五課

すめらみくにの

ものゝふは

いかなることをか

つごむべき

たゞみにもてる

まごころを

君とわやとに

つくすまで

練習

さむい風がふきます。

百一やうが、今はたけをたがへて、をります。

むぎのめが、二三寸にのびました。

これは、きよねんのあきまいた、
むぎであります。

この店に、米、むぎ、豆、あづきなど
の、こくもつを入れた、をけが
あります。

ウシロニ、ビヤウブガ、タテ、アリ
マス。

マヘニ、クウシト、サケトガ、ソナヘ
テアリマス。

オキヤクサマノ、オキウジヲシテ、
クダサレ。

父母ガ、ワタクシヲ、生ミツダテ
ラレタノデ、アリマス。

君トハ、ドナタノコトデ、コザリ

マスカ。

正尋常小學讀本卷之二終

明治廿八年二月二十五日印刷
 明治廿八年四月十八日印刷
 明治廿八年四月廿五日印刷
 明治廿八年五月十二日印刷
 明治廿八年七月六日印刷
 明治廿八年十一月十五日印刷

本書定價表

尋常	高等
卷一	卷一
金六錢	金十四錢
卷二	卷二
金七錢	金十五錢
卷三	卷三
金八錢	金十六錢
卷四	卷四
金九錢	金十七錢
卷五	卷五
金十錢	金十八錢
卷六	卷六
金十一錢	金十九錢
卷七	卷七
金十二錢	金二十錢
卷八	卷八
金十三錢	金二十一錢
全八册	全八册
金六十六錢	金一百一十九錢

西澤之助 東京市京橋區築地 二丁目二十一番地

川崎又次郎 東京市京橋區築地 二丁目二十一番地

國光社圖書部 東京市京橋區築地 二丁目二十一番地



版權所有

(尋常讀本明治廿八年十月製本) (國光社印刷部印刷)
 (電話一九四六番)

